

大本山永平寺：七堂伽藍（東司）

僧侶は、東司（洗面所）を訪れる際、道元禅師（1200–1253）によって著された正法眼蔵（肝心要のこと）と呼ばれる宗典に記載されている適切な行動に従う必要がある。東司は、永平寺の3つの三黙道場の1つであり、僧侶が禅の修行の一環として沈黙を守らなければならない場所である。